

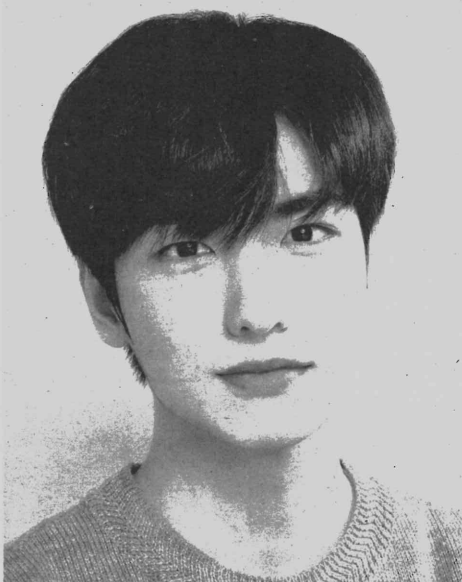


ニッポン ドクター和の 臨終図巻

楽しいはずのハロウインの夜が、惨劇に変わってしまいました。10月29日夜、ソウルの繁華街、梨泰院で起きた雑踏事故。

この原稿を書いている時点で、日本人を含む156人が亡くなったとの報道です。その多くは未来ある若者でした。韓国の若手俳優であるイ・ジハンさんもこの事故に巻き込まれ亡くなりました。享年24。イさんの所属事務所は、以下のようなコメントを発表しました。〈悲しい知らせに心を痛めています。大切な家族である俳優イ・ジハンが空の星となり、私たちの元を去っていきました。イ・ジハンの突然の逝去により深い悲しみの中にいるご遺族の皆様と、彼を愛し大切にしてくださいる皆様に

俳優 イ・ジハン



ソウルの雑踏事故で亡くなった俳優のイ・ジハンさん(本人のインスタグラムから)

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

心よりお悔やみ申し上げます。イ・ジハンさんは、みんなに優しく温かい友達でした。いつも明るく笑顔で迎えてくれた無限に明るく純真なジハンがもう見られないなんて信じられない。もう会えないなんて信じられない。突然旅立った156人のご家族、ご友人すべての方々がそんな絶望の中にいるはず。死亡した日本人のうちのお一人、北海道からソウルに留学中の26歳、富川芽生(めい)さんのお父さまは、芽生さんとの楽しそうなLINEのやりとりの記録をメディアに公開。その後韓国で悲しみの対面をなさったようです。

今回、この痛ましい事故に巻き込まれた多くの方の死因が、立ったままの状態で絶命をした「圧着性窒息死」の可能性があると地元メディアは発表しています。これは、ひとごとではありません。2001年には兵庫県明石市で、花火大会後の歩道橋で11人の子供や高齢者が亡くなっています。

人間は、肋骨(ろっこつ)の間にある横隔膜を動かして呼吸をしています。しかし今回、立ったままの状態でも四方八方から強烈な圧力を受けたことで、横隔膜を動かすことができずに呼吸困難となり短時間で死に至ったと考えられます。ある研究によれば、人間は270kgの圧力を受けた場合、約10秒あまりで呼吸困難に至るといふことです。

もしも、ものすごい群衆の中、息苦しくなるような圧迫感を感じたら、引く張られないよう荷物は投げ捨てて胸の前で腕組みをし、肋骨を守りながら脱出を試みてくだささい。「正常性バイアス」という言葉があります。危険な状況を本能的に察知しながらも、みんながそこにいるから大丈夫だろう、と考えるのは間違いです。今回の事故は、警備員を多く配置し一歩通行にしていれば防げたはずの事故でした。原因の徹底究明と再発防止を願います。

ハロウインの惨劇…もう会えないなんて